

**勤めながら出来る  
発明起業**

**11**

日曜発明ギャラリー代表  
小林 豊博

**英文のホームページを持とう!**



(米国へ留学経験があり)しか話せません。

「クールビットの台湾代理店になりたい!」という交渉は、日本語、中国語、英語が混ざり合う交渉になったのです。

交渉は大筋では合意しましたが、細かくは英文と日本語の併記した合意文書を作成するということになりました。



台北のWorld Trade Center 事務所にて (左案筆者)

[I have very interesting your idea cool cap, "coolbit". How can I get it?]

ある時、こんな英文のメールが来ました。日本語の“冷える帽子クールビット®”というホームページに英文のページをリンクしてあったのです。

それは、台湾の会社からでした。サンプル等の要求があり、その後、ある時、電話がかかってきました、それは、とても流麗な日本語でした。

台北市に数年前までは世界一の高さ508mを誇った「台北101」というビルがあります。その隣に、台北国際展示場ビルが併設されています。

そのビルに入っている某貿易会社の社長さんからの電話でした。

東京へ行く予定があるので逢ってほしいと言うこと、逢うと、同じ会社の役員の息子さんがクールビットを気に入って、どうしてもその商品の台湾での代理店を行いたいというのでした。

家内と私は台湾に観光ツアーで行くことにし、フリータイムに、彼らにお会いすることにしました。その時に案内して頂いたのが、台北101の最上階、101階に近い高級レストランでした。



左から台北の貿易会社社長さん、家内、社長の息子さん。右端は筆者

500m近いレストランからは、まるで飛行機に乗って雲の隙間から台北市内の様子を眼下に見渡す感があり、とても気分が高揚したのを覚えています。その貿易会社の社長さんは日本語と中国語が話せますが、ご担当の息子さんは中国語と英語

そのころ、ちょうど私は、JPra（日本パテントリサーチアソシエーツ）という組織（本部、東京新宿）の「特許事業化アドバイザー」という民間資格の研修を受けていました。毎週土曜日4時間、12回の結構長い、私にはきつい研修でした。

そのカリキュラムに「国際間における秘密保持契約や技術提携契約」の進め方の講義があり、まさにそれを実践して日本語と英語を併記して作成、その英語部分が先方から何度となく添削されるのを繰り返し、合意に至ったという経緯があります。

それと同時に、台湾の特許事務所をインターネットで探し、“coolbit”の台湾商標登録を直接行いました。（台湾は国際商標条約に非加盟の為、単独登録が必要）

ネットの世界では日本語は異端です。その後も他の国から英語での問い合わせがあり、英文ページからはビジネスの可能性が何倍にも広がる様な気がしています。

“coolbit”をアジアや中南米の暑い国の方々から慕われるブランドにしたいと言うのが私の夢です。

次回は不況時こそ、「創客、増客!」をという話です。

**【著者】**ある大手電機会社の開発エンジニアを30年ほど経験。その後、住宅設備営業企画部門へ転属。そのころから趣味の発明を始め「冷える帽子クールビット」で特許、意匠、商標等多数登録。定年を契機にその会社の運営に携わる。

URL: [www.coolbit.jp](http://www.coolbit.jp) 冷える帽子クールビット  
株式会社日曜発明ギャラリー 054-625-0839

No.659

7月号

# 発明ライフ

2010年



発行所 社団法人発明学会

発行・編集人 平井 工

〒162-0055 東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎03-5366-8811(代) FAX03-5366-8495

ホームページ http://hatsumei.jp

郵便振替口座 00110-2-159673

年間購読料送料共 5,000円/1部500円(送料68円)

(会費中に購読料を含む)



## 発明学会会館建設借入金完済 のご報告とお礼

(社)発明学会 会長 平井 工

社団法人発明学会の現在の建物が完成したのは、平成9年9月のことです。敷地約75坪、総5階建、事務室1階、セミナー室やパソコン教室、会員の相談や談話室などを備え、皆さんの学習研修はもとより、全国への発明情報発信基地として、大きく機能しています。

とくに当会を訪ねられる企業の方々は、「こんな立派なビルがあるのなら安心だ」と、会員方々の発明採用に前向きになって頂けます。アイデア募集の発明コンクール事業には、信頼を持って協賛になって頂けます。いまや発明活動に不可欠の存在です。当時3億円をかけて、この地に土地を購入し、土地を担保にビルを建てたのですが、建築費2億5千万円のうち2億円を銀行から借りました。そして、その借入金を返済するために、会員皆さんに広くご寄付を頂いたことをご承知の通りです。

「発明コンクールでもらった奨励金の一部を…」 「商品化契約が実ったから…」と3万円や1万円、「特許出願できたから…」 「発明相談をしたついでに…」と、5千円や3千円。皆さんのお心遣いで、ご寄付を頂きました。中には、100万円や50万円、30万円など高額ご寄付の方々もおられます。さらに理事の会社をお願いしてご寄付。事業費から返済金を捻出。このようにして、平成21年度の事業年度末である3月に、ようやく銀行からの借入金はすべて返済できました。

この間ご寄付頂いた方々は、個人会員方々延べ4,626人、寄付合計金額は70,172,455円になります。

ご寄付頂いた方々へはもちろん、ご支援頂きました方々、そして会員皆さんに、厚くお礼申しあ

げますとともにこうして完済できましたことをご報告申しあげます。

なお、今後のご寄付の形態は従来的一般寄付の取り扱いとし、発明奨励や発明商品化促進などの発明振興の事業活動に当てたく存じます。つきましては、寄付金の名称について、会員皆様からネーミングを募集します。皆様一緒に発明活動を盛り立てましょう。

寄付金のネーミング募集期間：平成22年7月末日(消印有効)。

葉書又は封書(1葉書又は1封書に1件応募)でお送り下さい。優秀ネーミング(10名)は、本誌9月号で発表するとともに記念品をお贈りします。

### 【借入金返済ご報告】

借入金	元本返済額	利息返済額
200,000,000円	200,000,000円 (9年度～21年度)	28,480,718円 (9年度～21年度)

### 発明ライフ -7月号目次-

- 会館建設借入金完済のご報告とお礼……………1
- 発明商品化ニュース「和服帯の補助具」……………2
- 発明商品化ニュース「ペンケース型財布」……………3
- 発明事業化ニュース「打ち上げ花火台」……………4
- 羽根がない扇風機の発想法……………5
- 主婦の駆け出し発明事業家④……………6
- 勤めながらできる発明起業⑩……………7
- 発明が発する幸福感⑪……………8
- アイデア求めます
- 「EVA樹脂利用の健康具、玩具、文具」「家庭雑貨用品」…9
- この会社に商品化提案⑮「樹脂材の園芸、ホビー」10
- アイデア探訪……………11
- イオン導入美顔器の開発と発想……………12
- 第49回通常総会報告/東京日曜発明学校/ご寄付 13
- 発明と特許講座のご案内……………14・15
- 身近なヒント発明展-今月締め切り!……………16

今月号より、本誌書体を読みやすいユニバーサルフォントに変更しました。今後とも会員皆様に親しみやすい紙面づくりに努めて参ります。